

広島市

景観まちづくりハンドブック

みんなが主役！



景観まちづくりを 始めよう！

もくじ

景観まちづくりを始めよう！・・・01

広島市の景観の特徴は？・・・03

自慢の景観を見つけよう！・・・05

みんなで考え、つくり、育てる景観・・・07

こんなまちになったらええじゃん！・・・12

景観まちづくりハンドブックについて

広島市では、「世界に誇れる『まち』」の実現に向けて、美しく品のある都市景観の創出に取り組んでいます。

より愛着を感じられるまちをつくるには、まず、まちの「景観」を知ること、その上でみんなが協力して取り組むことが大切です。

このハンドブックは、景観まちづくりを進めるために役立つヒントをまとめたものです。

「シ」は広島市の景観案内人！
一緒に「景観」について考えようやあ！



景観ってなんじゃろう？

『景観とは、人の目に映る視覚的なまちの姿だけでなく、地域の歴史や文化、自然などの風土や日常生活からかもし出される雰囲気、まちづくり活動やイベントによるにぎわいや活力など、見る人の知識や経験、価値観などからのまちの感じ方を含めたもの』です。

また景観は、「景」と「観」という2つの文字からできている言葉です。このうち「景」は風景そのもののことを表し、「観」はそれを見る人のとらえ方や感じ方を表しています。

同じものを見ても人によって感じ方が違うことがあるように、景観の感じ方も人それぞれです。このため、みんなが「ええじゃん！」と感じる景観をつくり出すことは難しい課題ですが、多くの人に愛される景観をつくるのが大切です。

※「ええじゃん！」とは、「Good」を意味する広島弁です。

「景」：見る対象

経験（物語）

愛着

価値観

季節
天候
時刻

人の動き
ものの動き
距離・・・

「観」：見る人のとらえ方・感じ方



まちの中に「ええじゃん！」を増やそう

それでは「ええじゃん！」を増やすためにどのようなことをすれば良いのでしょうか？「景観は、人によって感じ方に差がある」という点が手がかりになります。

自分の感覚だけで判断をせずに多くの人の意見を聴くこと、まちに暮らす人、まちを訪れる人など色々な人の立場に立って、どうすれば楽しく心地よい場所がつかれるかを考え、少しずつでも実行していくことが大切です。

ひとりの力でまちを美しくすることは難しそうですが、一人ひとりが思いやりやおもてなしの心を持って「ええじゃん！」を増やしていけば、その積み重ねがまち全体のイメージアップにつながるのです。



景観は「イメージ」だけじゃないよ

まちの景観のイメージアップのために余分な手間やお金をかけたくないという人がいるかもしれません。でも本当は、景観は「イメージ」だけではないんですよ。

思いやりやおもてなしの心が感じられる、楽しく心地よい場所には多くの人が集まります。つまり、景観はまちのにぎわいにも影響を与えているのです。

住宅地では手入れの行き届いた庭がシンボルとなり、まち全体の美しさが、一軒一軒の土地や建物の価値を高める要素にもなります。時間はかかりますが、みんなが協力してつくってきた景観には「イメージ」以上の価値があるといえそうです。

何よりも、自分が「ええじゃん！」と思える場所で暮らすこと、愛着を持ち人に自慢できる場所があることは、ほかのものには代えられない価値といえますよね。



広島市の 景観の特徴は？

このページでは広島市の景観を特徴づけている自然や都市としての歴史、生活文化などを紹介します。

日頃なにげなく見ている風景の中にも、広島ならではの景観をつくっている「まちの宝物」があります。

まちをかたちづくる自然

広島市は、中国山地を背に緑豊かな山々に囲まれ、市内には多数の川が流れ、美しい瀬戸内の海と島々など自然環境に恵まれたまちです。デルタ（三角州）には6本の川が流れていることから「水の都」とも呼ばれています。また、まちの中心部に近い場所に比治山や二葉山などが位置し、緑豊かなまちという印象をつくり出しています。



デルタの航空写真

城下町から近代的なまちへの発展

天正17年(1589年)、毛利輝元が太田川の河口に城をつくり、「広島」と名付けたといわれています。この時から広島の都市としての歴史が始まり、城下町として発展してきました。

明治に入ると洋風の生活様式や文化が採り入れられるとともに、橋や道路、近代的な建物が次々に建設され、上下水道やガス・電灯などが普及し、近代的な都市に発展しました。



昭和初期の広島市

紙屋町交差点（広島市公文書館提供）

原爆による廃墟からの復興

「75年は草木も生えない」といわれた原爆による廃墟からいち早く立ち直るために、「広島平和記念都市建設計画」に沿ったまちづくりが進められ、平和記念公園や河岸緑地、平和大通りなど、現在の広島市の景観を特徴づける新しく美しいまちなみが復興しました。

※「広島平和記念都市建設計画」とは、広島平和記念都市建設法に基づく復興まちづくりの計画です。



広島平和記念都市建設計画



平和大通り沿いのまちなみ

暮らしの中の景観

広島市では、四季折々の風物詩となるイベントや伝統文化を伝える祭りが数多く開催されています。毎年8月6日は原爆犠牲者のめい福を祈り、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う平和記念式典が行われています。

また、川や海、山など変化に富んだ地形に対応した暮らしの風景として、川沿いの雁木や広島湾のカキいかだ、山間部の棚田などを見ることができます。

灯籠流し



みんなに自慢できるまち

平和の象徴としての原爆ドームには、世界各国から多くの人を訪れています。ほかにも、市内を走る路面電車は、市民の生活に欠かせないものであるだけでなく、様々な種類の車両は観光客にも人気があります。

また、観光地ばかりでなく、住宅地や工業地などでも、身近なところにこれまで気付かなかった「まちの宝物」があるかもしれません。このように、日常の風景の中から「ええじゃん!」と思える場所を見つけていくことが、広島らしく、愛着が持てるまちをつくる第一歩なのです。

原爆ドーム



路面電車



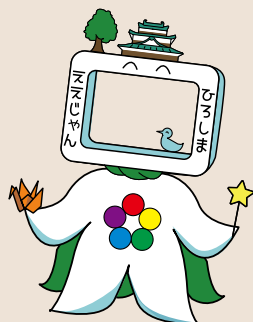
暮らしの中の景観

原爆による廃墟からの復興

城下町から近代的なまちへの発展

まちをかたちづくる自然

広島のみちにはいくつもの川が流れているし、山や海も意外に近い。
こうした自然の特徴を生かしながら城下町、近代都市と発展して、現在のまちなみができたんじゃね。



自慢の景観 を見つけよう！

「広島」と聞いてどのような場所を思い浮かべますか？ここでは、広島ならではの「ええじゃん！」が感じられる景観スポットを紹介します。もししたら、より身近な場所に「ええじゃん！」な景観があるかもしれません。

海と山のある景観 — 自然が豊かで ええじゃん！

瀬戸内の島々



古川水鳥緑道



鈴張の棚田



歴史を感じる景観 — 趣があって ええじゃん！

広島城



縮景園



不動院



復興と平和の景観 — 平和の象徴として ええじゃん！

原爆ドームと平和記念公園



平和大通り



河岸緑地とまちなみ



空から見る広島市も魅力的じゃ〜
海、川、山、何でもあるし、
にぎわいもあってええね！
みんなもっておきの景観を
見つけようやあ！



季節を彩る景観 — にぎわっていて ええじゃん！

とうかさん



フラワーフェスティバル



ひろしまドリミネーション



身近な日常の景観 — 親しみがあって ええじゃん！

路面電車



広島市民球場

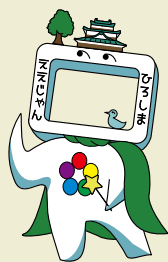


鴨木

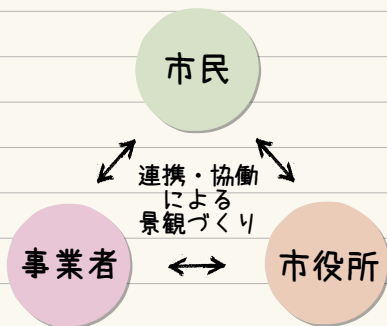


みんなで考え、 つくり、育てる景観

まちはみんなのものじゃけえ、
みんなが協力してそれぞれの
できることを実行することが
大切なんじゃね。



まちの景観は様々な立場の人の協力で築かれるものです。市民一人ひとりができることを考え行動すること（自助）、地域で協力して行うこと（共助）、個人や地域などでは解決できないことについて市役所が支えること（公助）など、役割分担と責任を明確にし、市民、事業者、市役所の連携や協働による景観づくりを進めていくことが大切です。



市民

市民の取組 ― まちの景観を見てみよう

みなさんは「景観」を意識してまちを歩いたことがありますか？身近な場所にも広島市の特徴が現れた景観があります。

〇広島らしい景観を探してみよう

見慣れていると何も感じないけれど、よそから来た人が見ると「おやっ」と感じる広島らしい景観があります。



市民の取組2 — みんなで「ええじゃん！」を増やそう

「景観」は意外に身近なものであることが分かったら、今度はみなさんと「ええじゃん！」を増やす取組に参加してみましょう。自分だけではできないことは、友達や家族、地域の人たちと協力して取り組むんでみましょう。みんなで取り組むと、より「ええじゃん！」の輪が広がります。

○まちの緑を増やそう、かわいがろう

まちの中にある緑は気持ちを優しくしてくれます。

- ・街路樹や草花を大切にしよう
- ・学校や地域の花壇づくり・緑のカーテンづくりに参加しよう
- ・緑を守っている人たちにお礼やあいさつをしよう



○地域の景観を考えよう

まちの中にある色々な建物を見ると将来のまちへの夢が膨らみます。「こうなったらいいな」というまちのイメージを持つことは、「ええじゃん！」を増やすことにつながります。

- ・身近なまちの色を考えてみよう
- ・住んでいるまちの歴史を知ろう
- ・将来のまちの絵を描いて、みんなで話し合ってみよう



事業者の取組

まちの景観に大きな影響を与える建物や看板を地域にふさわしいものにしていくためには、事業者の方々の協力が欠かせません。また、多くの事業者に協力してもらうためには、公平なルールとそれにとつた話し合いも必要になります。

○地域にふさわしいデザインを採り入れる

まちの景観を美しくするアイデアは、建物が建つ場所や建物の用途によっても変わってきます。多くの事業者がそれぞれの立場で景観まちづくりに取り組んでいます。

・市街地の例1



・市街地の例2



・団地の例



市役所が景観づくりの仕組みを整え、市民や事業者の方々に協力してもらいながら、皆さんが「ええじゃん！」と感じる景観になるよう調整をしています。

○その場所の特性を考えてルールをつくる

より多くの市民や事業者に、積極的に景観まちづくりに取り組んでもらうために、市役所では景観に関する様々なことがらを定めた景観計画をつくっています。ここでは、景観計画の内容やそれに基づくルール、より良い景観をつくるための仕組みなどについて説明します。

・景観計画って、どんなもの？



景観計画とは、景観法に基づいて広島市が定めた、景観づくりの総合的な計画書です。市民、事業者、市役所が協力して取り組む、景観づくりの方針や地域ごとのルール、景観をより良くするための方策などを一冊にまとめています。

その中で、広島市全域を景観計画区域とし、特に景観上重要な「景観計画重点地区」と、「一般区域」に分けています。

・色や形のルールと話し合い

建物や看板を新しくつくる時、改修するときなどには、それぞれのデザインが地区にふさわしいものになるよう、事業者と市役所が、色や形のルールにのっとった話し合いを行っています。



建物や看板の色やデザインにもルールがあるんじゃない？
一つひとつは個人や会社の持ち物でも
景観は、市民みんなの財産じゃけん

ワシはハデビルじゃ～
目立ってなんぼのものじゃ～



市民や事業者、市役所の連携・協働による取組

○取組例1—まちの宝物を守り、活用する

まちの歴史を見守ってきた古い建物や立派な樹木などを守り、後世に伝えていくために景観法（景観重要建造物、景観重要樹木の指定）や広島市景観条例（景観資源の登録）などに基づく制度を活用することができます。



○取組例2—ルールを作って自分たちのまちなみを守る

地域のみなさんが協力して美しい景観を守り、育てていくために、景観法の制度を活用して景観協定を定めることができます。協定では、建築物や工作物、屋外広告物、緑化など景観に関するものについて、色や形状、素材、敷地内の植栽などのルールを定めることができます。



こんなまちに
なったら
ええじゃん！



建物を建てる時、色を塗り替える時、看板をつけるとき・・・色々な機会が景観をより良くできるチャンスなんじゃ！
そんな時は、市役所と相談してくれんかねえ。

ワシの大好きな
原色じゃいけんのんかのお？



場所に合わせて色や形を工夫しよう

景観計画では、その場所にふさわしい景観をつくるためのルールを定めています。下の図は、景観計画重点地区（リバーフロント・シーフロント地区）で景観のルールがある場合とルールがない場合のイメージを示しています。それぞれどのような違いがあるか探してみましょう。

・河岸緑地の緑が映え、川沿いの建物のデザインが周囲と調和するように色や看板の工夫などを採り入れています。



ビルや看板の色・デザインを考えると川も緑もまちもきれいに見えるんじゃ〜。



ルールなし



ルールあり

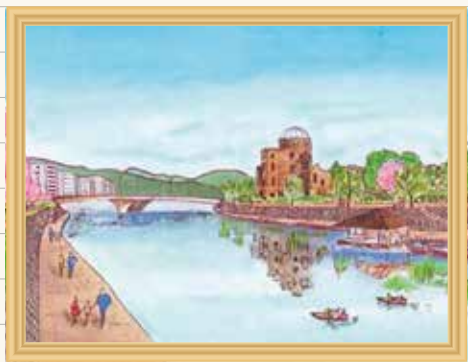
ワシの居場所がなくなつとるわあ〜（こ；）
と・ほ・ほ、



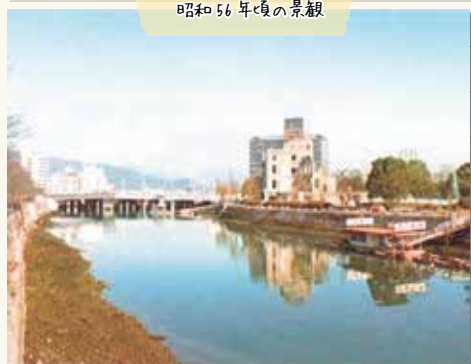
想いはぎっと叶う！

広島市では、昭和56年に「広島市都市美計画」をつくり、その中で目指すべきイメージをスケッチとして示しています。その中には、スケッチどおりの景観が実現されている場所もあります。みなさんも、こんなまちになると「ええじゃん！」というイメージを思い描いてみてください。一人ひとりの努力と多くのみなさんの協力によって、その想いが実現するかもしれません。

元安川と
原爆ドーム



昭和56年頃の景観



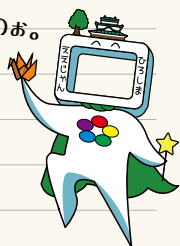
現在の景観（平成25年撮影）



絵に描いた景観が
実現しとるなんて、ほんまにすごいのお。
広島市民は頑張り屋じゃねえ！
もっと素敵なまちになるように、
これからもみんな
景観まちづくりに取り組もうやあ！！



ワシも色を変えてみたら、
なんだか人相、
いや、ビル相まで変わったんじゃ。
これでハデビルも「ええじゃん！」
の仲間入りじゃー！



景観形成の主な取組



昭和 56 年から、市の本格的な景観づくりが始まって以来、美しく品のある都市景観の創出を目指して、たくさんの市民や事業者の方々にご協力いただき、景観の協議を積み重ねてきました。

また、景観計画の策定を契機に下記のガイドラインや基準などを定めています。このハンドブックをご覧いただき、景観への関心が深まったら、これらの冊子類もお手にとってご覧ください。



広島市景観計画

美しく品のある都市景観を創出するための方針やルールを定めたものです。



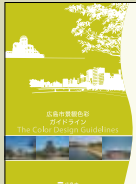
広島市景観計画 概要版

広島市景観計画の内容を要約したものです。



広島市景観形成ガイドライン

具体的な手続の流れや建築物等の形態意匠の基準を解説したものです。



広島市景観色彩ガイドライン

景観計画の区域ごとに建築物等の色彩の基準を解説したものです。



屋外広告物新基準の概要

屋外広告物の新たな規制・誘導の枠組や基準を解説したものです。

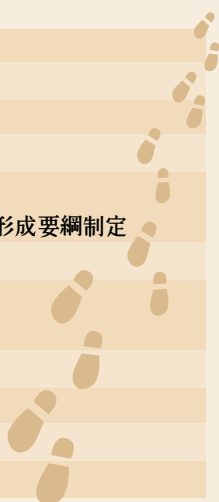


屋外広告物新基準の解説

屋外広告物新基準の運用上の取扱いや手続を解説したものです。

広島市の景観形成の主なあゆみ

昭和 56 年 (1981年)	広島市都市美計画策定
昭和 58 年 (1983年)	平和大通り沿道建築物等美観形成要綱制定
昭和 59 年 (1984年)	都市美協議制度制定
平成 元年 (1989年)	リバーフロント建築物等美観形成協議制度制定
平成 7 年 (1995年)	西風新都アーバンデザイン推進要綱制定 原爆ドーム及び平和記念公園周辺建築物等美観形成要綱制定
平成 16 年 (2004年)	景観法制定
平成 18 年 (2006年)	広島市景観条例制定 広島市屋外広告物条例改正
平成 19 年 (2007年)	縮景園周辺建築物等美観形成要綱制定
平成 20 年 (2008年)	広島市景観形成基本計画策定
平成 26 年 (2014年)	広島市景観計画策定
平成 27 年 (2015年)	屋外広告物新基準施行





広島市景観まちづくりハンドブック

広島市 都市整備局 都市計画課 Tel 082-504-2277
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
登録番号 広C2-2015-382

広島市の景観まちづくりについて調べる時には？

